

# 2021年度第1四半期 決算説明資料

2021年8月6日

旭化成株式会社

# 目次

## 1. 2021年度第1四半期実績

P4	主要決算数値
P5	セグメント別売上高・営業利益
P6	連結損益計算書
P7	連結貸借対照表
P8	連結キャッシュ・フロー計算書

## 2. 2021年度上期業績予想

P10	2021年度上期業績予想
P11	セグメント別売上高・営業利益予想

## 3. 参考資料

P13	セグメント別売上高・営業利益増減内訳
P14～15	事業別売上高・営業利益増減内訳
P16	海外売上高
P17	特別損益
P18～19	事業別売上高・営業利益予想
P20～26	セグメント別概況
P27～28	四半期売上高・営業利益推移

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



# 1. 2021年度第1四半期実績

# 主要決算数値

- 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてにおいて、第1四半期として過去最高を更新
- COVID-19による影響を大きく受けた2020年度第1四半期と比べ、「マテリアル」を中心に3セグメントすべてで増収・増益

(億円)

	20年度1Q	21年度1Q <sup>*1</sup>	増減額	増減率
売上高	4,552	5,834	1,283	28.2%
営業利益	301	605	304	101.0%
経常利益	302	652	349	115.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	464	328	241.7%
相場平均為替レート				
(円/USドル)	108	110	2	
(円/ユーロ)	118	132	13	

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

# セグメント別売上高・営業利益

- マテリアル：自動車関連市場が回復したことに加え、需要回復等を背景として石化製品市況が急速に上昇したことなどから、大幅な増収・増益
- 住宅：McDonald Jones等の新規連結や、海外事業が好調に推移したことに加え、建築請負部門の収益の計上基準が変更となったことなどから、増収・増益
- ヘルスケア：クリティカルケア事業において、除細動器等の主力事業が好調に推移したことに加え、医薬・医療事業も堅調に推移したことなどから、増収・増益

(億円)

		20年度1Q	21年度1Q*1	増減額	増減率
売上高	マテリアル	2,047	2,768	721	35.2%
	住宅*2	1,509	1,976	467	31.0%
	ヘルスケア	957	1,058	101	10.5%
	その他	39	32	-6	-16.2%
	合計	4,552	5,834	1,283	28.2%
営業利益	マテリアル	89	321	232	261.4%
	住宅*2	108	152	44	41.1%
	ヘルスケア	155	205	50	32.1%
	その他	7	3	-4	-54.2%
	消去又は全社	-58	-76	-18	-
	合計	301	605	304	101.0%

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高および売上原価の計上基準を変更している。これに伴い、変更前の基準を適用した場合と比べ、「マテリアル」セグメントの売上高は7,517百万円減少、営業利益は4百万円減少し、「住宅」セグメントの売上高は7,871百万円増加、営業利益は1,751百万円増加し、「ヘルスケア」セグメントの売上高は50百万円減少、営業利益は22百万円増加している。

\*2 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。

# 連結損益計算書

- 販管費：前年同期比では、McDonald Jones等の新規連結影響に加え、研究開発費、物流費等が増加
- 営業外損益：前年同期比では、PTT旭ケミカルの業績改善等により持分法投資損益が改善
- 特別損益\*1：政策保有株式の売却による投資有価証券売却益、McDonald Jones買収に伴う段階取得差益を計上

(億円)

	20年度1Q		21年度1Q*2		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	4,552	100.0%	5,834	100.0%	1,283	28.2%
売上原価	3,053	67.1%	3,881	66.5%	828	27.1%
売上総利益	1,499	32.9%	1,954	33.5%	455	30.4%
販管費	1,198	26.3%	1,349	23.1%	151	12.6%
営業利益	301	6.6%	605	10.4%	304	101.0%
営業外損益	1		47		45	
(内、金融収支)	(13)		(9)		(-4)	
(内、持分法投資損益)	(-1)		(37)		(38)	
(内、為替差損益)	(-4)		(2)		(6)	
経常利益	302	6.6%	652	11.2%	349	115.6%
特別損益	-48		32		80	
税前利益	255	5.6%	684	11.7%	429	168.7%
法人税等	-112		-216		-105	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-7		-4		4	
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	3.0%	464	8.0%	328	241.7%

\*1 内訳はP17参照

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

# 連結貸借対照表

- 総資産： Respicardia等の買収に伴うのれん等の計上に加え、設備投資に伴い有形固定資産が増加  
「収益認識に関する会計基準」の適用に伴い、契約資産が増加した一方、棚卸資産は減少
- 負債： 有利子負債が409億円増加
- 純資産： 四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加
- D/Eレシオは0.47、目安とする0.5程度を維持

(億円)

	21/3月末	21/6月末	増減		21/3月末	21/6月末	増減
流動資産	11,368	11,384	16	負債	14,244	14,517	273
現金及び預金	2,218	2,211	-6	流動負債	7,032	7,385	353
受取手形、売掛金及び契約資産	3,386	3,717	330	固定負債	7,212	7,133	-80
棚卸資産	4,815	4,539	-275	純資産	14,945	15,240	295
その他	949	917	-32	株主資本	13,359	13,675	316
固定資産	17,822	18,373	552	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	7,173	7,378	206	資本剰余金	796	796	-1
無形固定資産	6,944	7,287	343	利益剰余金	11,588	11,905	317
投資その他の資産	3,705	3,708	3	自己株式	-59	-59	-0
				その他の包括利益累計額	1,316	1,284	-32
				非支配株主持分	271	281	11
資産合計	29,189	29,757	568	負債純資産合計	29,189	29,757	568
のれん残高	3,519	3,758	239				
有利子負債*1	6,590	6,999	409				
D/Eレシオ	0.45	0.47	0.02				

\*1 リース債務除く

# 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CF: 税金等調整前四半期純利益は増加したが、売上高の回復に伴い売上債権等の運転資本が増加したことから、前年同期比でキャッシュ・インが減少
- 投資CF: Respicardia、McDonald Jonesの買収に伴い、前年同期比でキャッシュ・アウトが増加
- 財務CF: 配当金の支払いがある一方、資金調達の実行によりキャッシュ・イン

(億円)

	20年度1Q	21年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	501	302
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-328	-397
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	173	-95
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-164	116
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-5	3
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	3	24
現金及び現金同等物の期首残高⑦	2,048	2,162
連結の範囲の変更に伴う増減額⑧	17	11
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	2,068	2,197



## 2. 2021年度上期業績予想

# 2021年度上期業績予想

- ▶ COVID-19感染拡大前の2019年度上期を上回る売上高・営業利益を計画、上期として過去最高となる見通し  
前年同期比：「マテリアル」の業績回復を受け、増収・増益の計画  
前回予想比：売上高・営業利益は、第1四半期の業績が順調に推移したことを織り込み、「マテリアル」を中心に3セグメントすべてで上方修正
- ▶ 四半期純利益は、Veloxis再編に伴う税金費用軽減の計上時期を上期から下期に見直したことに伴い、前回予想より下方修正
- ▶ 1株当たり配当金は17円を予想

	20年度			21年度*1			増減額	増減率	(億円)	
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b			21年度 上期 前回予想*2 c	増減 b-c
売上高	4,552	5,342	9,894	5,834	6,145	11,980	2,086	21.1%	11,490	490
営業利益	301	467	768	605	455	1,060	292	38.1%	885	175
経常利益	302	473	775	652	448	1,100	325	42.0%	915	185
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	332	468	464	256	720	252	53.9%	870	-150
相場平均為替レート	(円/USドル) 108	106	107	110	110	110	3		105	5
	(円/ユーロ) 118	124	121	132	130	131	10		120	11
1株当たり配当金	(円)		17			17 (予想)				

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*2 2021年5月時点の予想

# セグメント別売上高・営業利益予想

## 【前回予想比】

- マテリアル： 第1四半期の業績が順調に推移したことに加え、石化製品市況が想定以上に上昇したことや、リチウムイオン電池（以下、LIB）用セパレータの好調な販売を見込むことなどから、上方修正
- 住宅： 海外事業の好調な推移を見込むことなどから、上方修正
- ヘルスケア： クリティカルケア事業において、除細動器や着用型自動除細動器「LifeVest」等の主力事業が好調に推移することを見込むことなどから、上方修正

(億円)

		20年度			21年度*1			増減額 b-a	増減率	21年度 上期 前回予想*2 c	増減 b-c
		1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q予想	上期予想 b				
売上高	マテリアル	2,047	2,337	4,384	2,768	3,082	5,850	1,466	33.5%	5,560	290
	住宅*3	1,509	1,878	3,387	1,976	2,024	4,000	613	18.1%	3,870	130
	ヘルスケア	957	1,092	2,049	1,058	1,002	2,060	11	0.6%	1,990	70
	その他	39	36	75	32	38	70	-4	-5.6%	70	-
	合計	4,552	5,342	9,894	5,834	6,145	11,980	2,086	21.1%	11,490	490
営業利益	マテリアル	89	120	208	321	269	590	382	183.2%	465	125
	住宅*3	108	209	317	152	158	310	-7	-2.2%	300	10
	ヘルスケア	155	199	354	205	115	320	-34	-9.6%	280	40
	その他	7	10	17	3	7	10	-7	-41.9%	10	-
	消去又は全社	-58	-71	-129	-76	-94	-170	-41	-	-170	-
	合計	301	467	768	605	455	1,060	292	38.1%	885	175

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*2 2021年5月時点の予想

\*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。

# 3. 参考資料

## セグメント別売上高・営業利益増減内訳

(億円)

		20年度1Q	21年度1Q*1	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差*1
マテリアル	売上高	2,047	2,768	721	35.2%	519	② 178	31	24
	営業利益	89	321	232	261.4%	① 163			③ -109
住宅*2	売上高	1,509	1,976	467	31.0%	67	④ 36	-	365
	営業利益	108	152	44	41.1%	-13			⑤ 21
ヘルスケア	売上高	957	1,058	101	10.5%	85	-8	5	24
	営業利益	155	205	50	32.1%	⑥ 65			-7
その他	売上高	39	32	-6	-16.2%	-6	-	-	-
	営業利益	7	3	-4	-54.2%	-1			-3
消去又は全社	営業利益	-58	-76	-18	-	-	-	-	-18
合 計	売上高	4,552	5,834	1,283	28.2%	664	206	36	413
	営業利益	301	605	304	101.0%	214			-116

## ＜営業利益の主な増減要因＞

- ① 自動車関連市場向け各製品や衣料関連市場向け繊維製品の販売数量増加
- ② 需要回復を背景とした石化製品市況上昇
- ③ 原燃料価格の上昇
- ④ 建築請負部門における物件大型化等による平均単価上昇
- ⑤ 「収益認識に関する会計基準」適用の影響、McDonald Jones等の新規連結
- ⑥ 除細動器の販売数量増加、骨粗鬆症治療剤「テリボン」の販売数量増加

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高および売上原価の計上基準を変更している。これに伴い、変更前の基準を適用した場合と比べ、「マテリアル」セグメントの売上高は7,517百万円減少、営業利益は4百万円減少し、「住宅」セグメントの売上高は7,871百万円増加、営業利益は1,751百万円増加し、「ヘルスケア」セグメントの売上高は50百万円減少、営業利益は22百万円増加している。なお、当該変更による増減額は「その他差」に含めて開示している。

\*2 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1増減内訳(1)

(億円)

		20年度1Q	21年度1Q*2	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差*2
基盤マテリアル	売上高	575	791	216	37.6%	125	112	1	-21
	営業利益	-17	101	118	-	23			-18
パフォーマンス プロダクツ	売上高	682	1,103	421	61.8%	295	56	17	70
	営業利益	14	106	93	-	111			-75
スペシャルティ ソリューション	売上高	700	782	82	11.7%	86	9	13	-14
	営業利益	78	129	51	65.2%	29			12
マテリアル共通	売上高	90	92	2	2.0%	12	-	-	-10
	営業利益	14	-15	-29	-	-0			-29
住宅*3	売上高	1,391	1,872	481	34.6%	77	36	-	369
	営業利益	98	147	49	50.4%	-5			18
建材	売上高	119	104	-14	-12.1%	-10	-0	-	-4
	営業利益	11	4	-6	-59.8%	-8			2

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。なお、当該変更による増減額は「その他差」に含めて開示している。

\*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1増減内訳(2)

(億円)

		20年度1Q	21年度1Q*2	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差*2
医薬・医療	売上高	365	428	62	17.1%	49	-9	0	22
	営業利益	57	76	19	32.8%	34			-7
クリティカルケア	売上高	592	630	38	6.5%	36	1	5	1
	営業利益	98	129	31	31.7%	31			-0
その他	売上高	39	32	-6	-16.2%	-6	-	-	-
	営業利益	7	3	-4	-54.2%	-1			-3
消去又は全社	営業利益	-58	-76	-18	-	-	-	-	-18
合計	売上高	4,552	5,834	1,283	28.2%	664	206	36	413
	営業利益	301	605	304	101.0%	214			-116

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。なお、当該変更による増減額は「その他差」に含めて開示している。

# 海外売上高

(億円)

	20年度1Q			21年度1Q*1			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
マテリアルセグメント	2,047	1,076	52.6%	2,768	1,743	63.0%	667	62.0%
基盤マテリアル	575	253	44.0%	791	438	55.4%	185	73.2%
パフォーマンスプロダクト	682	345	50.6%	1,103	738	66.9%	393	114.0%
スペシャルティソリューション	700	475	67.9%	782	559	71.6%	84	17.7%
マテリアル共通	90	3	3.2%	92	8	8.6%	5	175.6%
住宅セグメント	1,509	41	2.7%	1,976	367	18.6%	326	—
住宅*2	1,391	41	3.0%	1,872	367	19.6%	326	—
建材	119	—	—	104	0	0.0%	0	—
ヘルスケアセグメント	957	743	77.6%	1,058	816	77.1%	73	9.9%
医薬・医療	365	155	42.4%	428	191	44.7%	36	23.3%
クリティカルケア	592	588	99.3%	630	625	99.1%	37	6.3%
その他	39	4	10.8%	32	4	11.7%	—0	—9.4%
合 計	4,552	1,864	41.0%	5,834	2,930	50.2%	1,066	57.2%
アジア		846	18.6%		1,272	21.8%	426	50.3%
(内、中国)		446	9.8%		578	9.9%	133	29.8%
米州		692	15.2%		953	16.3%	260	37.6%
欧州		264	5.8%		391	6.7%	128	48.4%
その他海外		62	1.4%		315	5.4%	252	—

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高の計上基準を変更している。

\*2 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 特別損益

(億円)

		20年度1Q	21年度1Q	増減
	投資有価証券売却益	0	56	56
	固定資産売却益	1	3	2
	段階取得による差益	-	17	17
	特別利益	1	76	75
	投資有価証券評価損	0	-	-0
	固定資産処分損	17	15	-1
	減損損失	0	0	-0
	事業構造改善費用	31	28	-3
	特別損失	48	44	-4
	特別損益	-48	32	80

# 事業別売上高予想

(億円)

	20年度			21年度*1			増減額 b-a	増減率	21年度 上期 前回予想*2 c	増減 b-c
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
基盤マテリアル	575	592	1,167	791	919	1,710	543	46.6%	1,540	170
パフォーマンスプロダクツ	682	907	1,589	1,103	1,197	2,300	711	44.7%	2,280	20
スペシャルティソリューション	700	746	1,446	782	878	1,660	214	14.8%	1,570	90
マテリアル共通	90	92	182	92	88	180	-2	-1.2%	170	10
住宅*3	1,391	1,753	3,144	1,872	1,908	3,780	636	20.2%	3,630	150
建材	119	125	243	104	116	220	-23	-9.6%	240	-20
医薬・医療	365	378	743	428	432	860	117	15.7%	870	-10
クリティカルケア	592	714	1,306	630	570	1,200	-106	-8.1%	1,120	80
その他	39	36	75	32	38	70	-4	-5.6%	70	-
合 計	4,552	5,342	9,894	5,834	6,145	11,980	2,086	21.1%	11,490	490

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高の計上基準を変更している。

\*2 2021年5月時点の予想

\*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 事業別営業利益\*1予想

(億円)

	20年度			21年度*2			増減額 b-a	増減率	21年度 上期 前回予想*3 c	増減 b-c
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q 予想	上期 予想				
			a			b				
基盤マテリアル	-17	18	1	101	89	190	189	-	120	70
パフォーマンスプロダクツ	14	34	48	106	84	190	142	296.1%	175	15
スペシャルティソリューション	78	74	152	129	101	230	78	51.2%	180	50
マテリアル共通	14	-7	7	-15	-5	-20	-27	-	-10	-10
住宅*4	98	196	294	147	153	300	6	2.1%	285	15
建材	11	13	24	4	6	10	-14	-58.4%	15	-5
医薬・医療	57	51	108	76	44	120	12	10.8%	120	-
クリティカルケア	98	148	246	129	71	200	-46	-18.6%	160	40
その他	7	10	17	3	7	10	-7	-41.9%	10	-
消去又は全社	-58	-71	-130	-76	-94	-170	-40	-	-170	-
合 計	301	467	768	605	455	1,060	292	38.1%	885	175

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*3 2021年5月時点の予想

\*4 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# マテリアルセグメント(1)

(億円)

	売上高			
	20年度1Q	21年度1Q*1	増減額	増減率
マテリアルセグメント	2,047	2,768	721	35.2%
基盤マテリアル	575	791	216	37.6%
パフォーマンス プロダクツ	682	1,103	421	61.8%
スペシャルティ ソリューション	700	782	82	11.7%
マテリアル共通	90	92	2	2.0%

	営業利益*2			
	20年度1Q	21年度1Q*1	増減額	増減率
マテリアルセグメント	89	321	232	261.4%
基盤マテリアル	-17	101	118	-
パフォーマンス プロダクツ	14	106	93	-
スペシャルティ ソリューション	78	129	51	65.2%
マテリアル共通	14	-15	-29	-

## < 基盤マテリアル事業 >

### 営業利益: 増益

(+) 原料価格上昇に伴う在庫受払差

### トピックス

・CO<sub>2</sub>を主原料とする高純度カーボネート類製造技術の第1号のライセンス契約締結を発表。(7月)

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*2 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# マテリアルセグメント(2)

## <パフォーマンスプロダクツ事業>

### 営業利益:増益

- (+)自動車関連市場向け各製品における販売数量増加
- (+)衣料関連市場向け繊維製品における販売数量増加
- (+)原料価格上昇に伴う在庫受払差

### トピックス

- ・スパンデックス事業の構造改革を発表。(8月)

## <スペシャルティソリューション事業>

### 営業利益:増益

- (+)LIB用セパレータの販売数量増加

### トピックス

- ・アクリルラテックス事業、光触媒塗料事業の撤退および和歌山工場の閉鎖を発表。(5月)

# 住宅セグメント(1)

(億円)

	売上高			
	20年度1Q	21年度1Q <sup>*1</sup>	増減額	増減率
住宅セグメント	1,509	1,976	467	31.0%
住宅事業	1,391	1,872	481	34.6%
建築請負部門	807	912	105	13.0%
不動産部門	415	459	44	10.6%
リフォーム部門	120	130	9	7.5%
海外事業他 <sup>*2</sup>	48	372	324	-
建材事業	119	104	-14	-12.1%

	営業利益 <sup>*3</sup>			
	20年度1Q	21年度1Q <sup>*1</sup>	増減額	増減率
住宅セグメント	108	152	44	41.1%
住宅事業	98	147	49	50.4%
建築請負部門	36	57	21	57.7%
不動産部門	52	56	4	8.2%
リフォーム部門	10	11	0	4.3%
海外事業他 <sup>*2</sup>	0	24	24	-
建材事業	11	4	-6	-59.8%

## 営業利益:増益

- (+) 建築請負部門における物件大型化等による平均単価上昇
- (+) 「収益認識に関する会計基準」適用の影響
- (+) McDonald Jones等の新規連結

## 建築請負部門の受注高状況

- ・COVID-19感染拡大の影響を大きく受けた前年同期に対し91.5%の増加となった。

## トピックス

- ・豪州の住宅会社McDonald Jonesの株式を追加取得する契約を締結。(4月)連結子会社化。(6月)

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*2 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を含めている。

\*3 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# 住宅セグメント(2) 受注高、売上高の推移

(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負部門売上高				不動産部門売上高				リフォーム部門売上高	他*2、3	連結計	受注残
			戸建	集合	他*1	合計	分譲	賃貸	他	合計				
17	上期	1,931 (-6.5%)	1,432	367	27	1,827	120	453	16	590	268	11	2,696	5,289
	下期	2,125 (9.4%)	1,617	588	36	2,241	147	478	25	651	284	11	3,187	5,209
	通期	4,056 (1.2%)	3,049	956	63	4,068	268	932	42	1,241	552	22	5,883	
18	上期	2,101 (8.8%)	1,364	368	23	1,755	168	497	16	681	272	10	2,718	5,578
	下期	2,415 (13.6%)	1,628	614	40	2,282	132	521	21	674	312	61	3,329	5,750
	通期	4,516 (11.3%)	2,993	981	63	4,037	299	1,018	37	1,354	584	71	6,047	
19	上期	2,019 (-3.9%)	1,440	439	94	1,973	76	544	23	643	320	113	3,049	5,890
	下期	1,984 (-17.8%)	1,469	623	92	2,184	280	568	28	876	294	90	3,444	5,782
	通期	4,003 (-11.3%)	2,909	1,062	186	4,157	355	1,112	51	1,519	613	204	6,493	
20	上期	1,453 (-28.1%)	1,328	469	81	1,878	309	581	21	910	258	98	3,144	5,438
	下期	1,813 (-8.6%)	1,366	611	92	2,069	111	608	71	790	272	174	3,304	5,275
	通期	3,266 (-18.4%)	2,693	1,080	174	3,947	420	1,189	91	1,701	529	272	6,448	
21*4	1Q	912 (91.5%)	612	248	51	912	133	310	16	459	130	372	1,872	5,409
	2Q予想	1,107 (13.4%)				1,008	67	315	19	401	140	358	1,908	5,584
	上期予想	2,019 (39.0%)				1,920	200	625	35	860	270	730	3,780	

\*1 一部分譲、ケア工事等。(2019年度より、従来販管費で計上していたケア工事収入を売上高に含めている。)

\*2 2018年度第4四半期より、米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を含めている。

\*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を含めている。

\*4 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。ただし、受注残については旧基準ベースで算出した金額を表示している。

# ヘルスケアセグメント(1)

(億円)

	売上高			
	20年度1Q	21年度1Q <sup>*1</sup>	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	957	1,058	101	10.5%
医療・医薬事業	365	428	62	17.1%
クリティカルケア事業	592	630	38	6.5%

	営業利益 <sup>*2</sup>			
	20年度1Q	21年度1Q <sup>*1</sup>	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	155	205	50	32.1%
医療・医薬事業	57	76	19	32.8%
クリティカルケア事業	98	129	31	31.7%

## 営業利益:増益

- (+) Respicardia買収に伴う会計処理影響
- (+) 除細動器の販売数量増加
- (+) 骨粗鬆症治療剤「テリボン」の販売数量増加

## トピックス

- ・ZOLLによる米国医療機器メーカーRespicardia買収。(4月)
- ・VeloxisによるCD28阻害薬「FR104」の臓器移植を対象としたグローバルライセンス契約締結。(4月)
- ・旭化成メディカルによるウイルス除去フィルター「プラノバ BioEX」の紡糸能力の倍増を決定。(7月)
- ・旭化成ファーマによる免疫調整剤「プラケニル錠200mg」の日本における販売に関するライセンス契約締結。(7月)

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*2 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# ヘルスケアセグメント(2)

## 医薬・医療事業 売上高内訳

(億円)

	20年度		21年度
	1Q	上期	1Q
医薬事業	180	379	227
医療事業	185	364	201
医薬・医療 計	365	743	428

## 医薬事業 主要医薬品売上高

(売上高の対象地域、単位)	20年度		21年度
	1Q	上期	1Q
<旭化成ファーマ>			
テリボン (国内、億円)	66	143	90
リコモジュリン ( " )	24	48	22
ケブザラ ( " )	12	24	16
リクラスト ( " )	3	6	3
<Veloxis Pharmaceuticals>			
Envarsus XR (米国、百万ドル)	27	60	34

# ヘルスケアセグメント(3)

## 医薬事業 主要医薬品

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤(副甲状腺ホルモン:PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ(遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

## 医薬事業 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	フェーズⅢ	AK1820・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症治療剤	深在性真菌症	日本	導入	
	フェーズⅡ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性末梢神経障害	日本	自社	効能追加
	フェーズⅡ	AK1830・経口	慢性疼痛治療剤	変形性関節症に伴う疼痛	日本	導入	
	フェーズⅡ			慢性腰痛症に伴う疼痛			
海外	申請中	HE-69・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加
	フェーズⅢ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う重症敗血症	米国・欧州 他	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

# 四半期売上高推移

	20年度				21年度*1	(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	21年度*1 2Q 予想
<b>マテリアルセグメント</b>	2,047	2,337	2,672	2,856	2,768	3,082
基盤マテリアル	575	592	690	832	791	919
パフォーマンスプロダクツ	682	907	1,075	1,092	1,103	1,197
スペシャルティソリューション	700	746	804	821	782	878
マテリアル共通	90	92	103	111	92	88
<b>住宅セグメント</b>	1,509	1,878	1,736	1,803	1,976	2,024
住宅*2	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,908
建材	119	125	126	109	104	116
<b>ヘルスケアセグメント</b>	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,002
医薬・医療	365	378	407	394	428	432
クリティカルケア	592	714	623	606	630	570
<b>その他</b>	39	36	34	34	32	38
<b>合 計</b>	4,552	5,342	5,473	5,694	5,834	6,145

\*1 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高の計上基準を変更している。

\*2 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 四半期営業利益\*1推移

	20年度				21年度*2	(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	21年度*2 2Q 予想
<b>マテリアルセグメント</b>	89	120	219	237	321	269
基盤マテリアル	-17	18	41	98	101	89
パフォーマンスプロダクト	14	34	79	60	106	84
スペシャルティソリューション	78	74	101	95	129	101
マテリアル共通	14	-7	-1	-16	-15	-5
<b>住宅セグメント</b>	108	209	165	154	152	158
住宅*3	98	196	155	148	147	153
建材	11	13	12	1	4	6
<b>ヘルスケアセグメント</b>	155	199	204	118	205	115
医薬・医療	57	51	88	34	76	44
クリティカルケア	98	148	117	84	129	71
<b>その他</b>	7	10	7	14	3	7
<b>消去又は全社</b>	-58	-71	-68	-100	-76	-94
<b>合計</b>	301	467	527	423	605	455

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。

\*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

